

中国株ウィークリーレポート

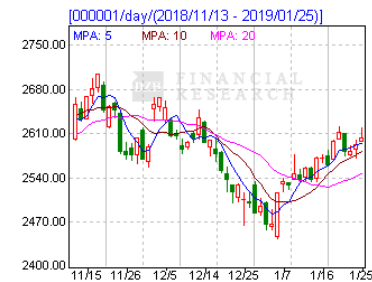
2019/1/28

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	24,737.20	183.96	0.75	0.12	6.04	23,327.46
NASDAQ	7,164.86	91.40	1.29	0.11	7.98	6,635.28
日経225	20,773.56	198.93	0.97	0.52	3.79	20,014.77
上海総合	2,601.72	10.03	0.39	0.22	4.32	2,493.90
滬深300(CSI300)	3,184.47	25.69	0.81	0.51	5.77	3,010.65
ハンセン	27,569.19	448.21	1.65	1.77	6.67	25,845.70
中国企業	10,873.67	182.67	1.71	2.23	7.40	10,124.75

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.8%高と4週続伸、上海総合指数は0.2%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.8%高と4週続伸。週明け21日から24日までは節目の27000ポイントを挟んでもみ合い。25日に中国の金融政策などを好感する買いが相場を押し上げ、18年9月28日以来、ほぼ4カ月ぶりの高値で引けた。米中通商交渉の進展と中国の景気下支え策への期待が根強かった。中国人民銀行の流動性供給を手掛かりに金融株が買われた。上海総合指数は週間で0.2%高と4週続伸。22日に景気減速への警戒感で大きく下げたが、緩和的な金融政策が好感され、25日まで3日続伸となった。

今週の展望:香港市場は方向感に乏しい展開か、イベント満載で様子見へ

香港市場は方向感に乏しい展開か。重要なイベントが相次ぎ、積極的な売買が手控えられそう。29-30日の米連邦公開市場委員会(FOMC)では金融政策の方向性が注目される。また、30-31日には米国と中国が閣僚級通商協議を開く。貿易問題では一定の前進が期待される半面、トランプ米政権の幹部が人民元相場や中国経済の構造改革を交渉で重視すると表明しており、先行き不透明感は根強い。本土市場も見送り気分が強まるか。翌週の春節(旧正月)の大型連休を前に持ち高整理の動きが広がる展開も想定される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 吉利汽車(00175)	13.38	9.14
2 舜宇光学科技(02382)	76.55	6.84
3 九龍倉置業地産(01997)	52.95	6.11
4 碧桂园(02007)	10.28	5.87
5 中国神華能源(01088)	19.68	5.47
6 Link REIT(00823)	83.10	4.73
7 ファイ・コム(00762)	9.07	4.61
8 銀河娛樂(00027)	51.25	4.27
9 新鴻基地産(00016)	129.00	4.03
10 長江インフラ(01038)	63.80	3.99

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 華潤置地(01109)	29.30	-5.94
2 中国生物製薬(01177)	6.09	-5.73
3 申洲国際集団(02313)	91.30	-1.35
4 電能実業(00006)	53.65	-1.20
5 信和置業(00083)	14.10	-0.84
6 中国蒙牛乳業(02319)	25.25	-0.79
7 恒安国際集団(01044)	57.85	-0.60
8 AIAグループ(01299)	69.50	-0.57
9 ベトロファイ(00857)	5.04	-0.20
10 サズ・ファイ(01928)	36.50	0.14

▼今週の主なイベント

- 1月29日(火)
- 【米国】FOMC(30日まで)
- 1月30日(水)
- 【米中】閣僚級貿易協議(31日まで)
- 1月31日(木)
- 【中国】製造業 PMI(1月)

▼今週の期待材料

- ◆29-30日に米FOMC開催、19年の利上げ回数見通しが従来の2回から修正される可能性高まる
- ◆中国人民銀行が先週に預金準備率を引き下げ、標的型中期貸出制度などでも潤沢な資金を銀行に供給
- ◆中国指導部、上海証券取引所にハイテクベンチャー市場「科创板」を設立する計画を正式に承認

▼今週の懸念材料

- ◆30-31日の米中の閣僚級貿易協議を前に一部で悲観論、技術移転強要などの問題で対立根深く
- ◆来週は春節(旧正月)の連休で香港市場での取引は1日半、長期の連休を前に手仕舞い売り優勢な展開も
- ◆中国の18年10-12月期のGDP成長率が6.4%に減速、景気低迷で18年下期の企業業績低迷に警戒感

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ テンセント (00700) : 関連の3ゲームが中国当局の審査を通過、ゲーム低迷期脱却も
- ☆ シノペック (00386) : 18年12月本決算速報値は22%増益、精油・販売事業が好調
- ☆ 長城汽車 (02333) : 18年12月本決算速報値は7%増益、19年新車販売目標は14%増
- ☆ 招商銀行 (03968) : 18年12月本決算速報値は15%増益、期末の不良債権比率が改善
- ☆ 東岳集団 (00189) : 18年12月本決算は30%超増益の見通し、主力製品の価格上場で
- ☆ 華電国際電力 (01071) : 18年通期の発電量が前年比9.5%増、電力需要増加が奏功
- ☆ 東方電気 (01072) : 18年12月本決算で65-95%増益の見通し、資産買収が寄与
- ★ 恒隆地産 (00101) : 30日に18年12月本決算を発表、市場予想は大幅減益の見通し
- ★ 中信証券 (06030) : 18年12月本決算速報値は15%減益、市場環境の変化が響く
- ★ 衆安在線財産保険 (06060) : 18年12月本決算の純損失、大幅増の見通し

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。